

4. Workshop Information (ワークショップ情報)

題目：Rを用いた一般化線形混合モデル (GLMM) の分析手法を身につける
— 言語研究分野の分析事例をもとに —

講師 田村 祐 (関西大学)
司会 大木 俊英 (白鷗大学)

日時：2023年9月10日(日) 9時00分～12時00分 (休憩含む)

場所：C-18 (中講義棟) 文学部 第二講義室

参加費：無料 (非会員は1,000円)

定員：25名

申込期限：9月3日(日) [定員になり次第締め切り]

参加条件：Rの基本的なデータ・ハンドリングに習熟しており、統計分析の基本的な概念 (とくに回帰分析) について理解していることを参加条件とします。また次の2つを事前にインストールしたパソコンをお持ちください。

(a) R 3.5.0以上のバージョン ; 以下からダウンロード可能

<https://cran.r-project.org/>

(b) RStudio Desktop (バージョンは特に問いません)

目的：

1. 一般化線形混合モデルとは何かを理解する
2. Rを用いて一般化線形混合モデルを実行する技術を身につける
3. 分析結果を論文で報告する際の注意点を理解する

手順：

1. 理論編
2. 実践編
 1. データの下処理
 2. データ分析
 3. 分析結果の解釈
 4. 結果の図示と報告
3. Q&A

申込方法：

1. 下記 URL または QR コードより申し込みフォームにアクセスし、必要な情報をご登録ください。

URL: <https://forms.gle/fr1oCnsDyFwkW7WXA>



2. 上記の申込方法で不具合がある場合はメールでの受け付けも致します。下記の情報を平井明代（筑波大学）hirai.akiyo.ft@u.tsukuba.ac.jp まで e-mail でご連絡ください。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">(1) 氏名・所属・メールアドレス（全員）(2) ワークショップの参加理由（全員）(3) 講師へのご質問（希望者のみ）(4) 講師からの質問Q1. 一般化線形混合モデルの分析を使うと想定されているデータはどのようなデータか教えてください（例：質問紙の評定値，テストの正誤データ，反応時間データ）Q2. 一般化線形混合モデルの分析を行う際に困っていることがもしあれば教えてください。(5) その他、ワークショップまたは JLTA ワークショップ全体に対して何かご要望がありましたらお書きください。（希望者のみ） |
|--|